

1	(1) $1\frac{1}{3}$	(2) $\frac{1}{2}$	(3) 28	(4) 0
	(5) 2100	(6) $3\frac{1}{2}$	(7) 15:12:10	(8) 2000

2	(1) 25 %	(2) 14 人	(3) 5 分	(4) 49 分
	(5) 88 点	(6) 24000 円	(7) $\frac{15}{256}$	(8) 99 度

3	(1) (式または考え方) $30 \times 15 \times 14 = 6300 \text{ (cm}^3\text{)}$ $(7200 - 6300) \div (15 \times 10)$ $= 900 \div 150$ $= 6 \text{ (cm)}$ $14 + 6 = 20 \text{ (cm)}$	(2) (式または考え方) $14 \times 30 + 26 \times 10 = 420 + 260$ $= 680 \text{ (cm}^2\text{)}$ $7200 \div 680 = 10.58 \dots$ 小数第2位を四捨五入して10.6 (cm)
	(答) 20 cm	(答) 10.6 cm

4	(1) (式または考え方) $140 \div 60 = \frac{140}{60}$ $= \frac{7}{3}$ $\frac{7}{3} + \frac{30}{60} + \frac{30}{60} = \frac{7}{3} + 1$ $= \frac{10}{3}$ $= 3 + \frac{1}{3}$ $= 3 + \frac{20}{60}$ よって3時間20分	(2) (式または考え方) (ア) A→B→Dは ③→⑤がもっとも早く着き、 $2 + \frac{30}{60} + \frac{30}{60} = 3$ (時間) かかる。 (イ) A→C→B→Dは ⑥→⑧→⑤がもっとも早く着き、 $1 + \frac{50}{60} + \frac{20}{60} + \frac{30}{60} + \frac{30}{60} = 3 + \frac{10}{60}$ (時間) かかる。 (ウ) A→C→Dは ⑥→⑦と進み、 $1 + \frac{50}{60} + 1 + \frac{15}{60} = 3 + \frac{5}{60}$ (時間) 5分かかる。 (ア), (イ), (ウ)より もっとも早く着くのは(ア)で ③→⑤の道順である。
	(答) 3 時間 20 分	(答) ③ → ⑤

受験番号	* 評 点

(*印の評点らんには、何も書かないこと)